

令和6年度 へき地・小規模校教育研究発表会の御案内

研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子供の育成」

～児童・生徒一人一人が他者とながかり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の深化・充実を目指して～

東京都の多摩・島しょ地域の学校では、地域の特性を生かした特色ある教育活動や小規模校の利点を生かした授業研究が行われています。

東京都教育委員会では、東京都へき地教育研究協議会との共催により、へき地・小規模校における教育課題の解決に向けた教育実践の成果を発表します。この研究発表会を通して、広く教育関係者の理解と関心を深めるとともに、へき地・小規模校の課題を踏まえ、教職員が一体となって組織的に取り組む教育の在り方を明らかにします。



大島町の自然（地層切断面）



檜原村の自然（払沢の滝）

○ 日 時 令和6年 **8月1日（木）**

午後1時30分から午後4時30分まで（受付開始 午後1時）

○ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（小ホール）

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

研究発表会 次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 研究発表

(1) 大島町立さくら小学校

「大島まるごと学校 — 大島で学ぶ・大島を学ぶ・大島から学ぶ —」

(2) 檜原村立檜原中学校

「檜原村の今と未来に貢献する生徒の育成

— 総合的な学習の時間を中心とする

“つなごう未来の檜原プロジェクト”を通して —」

(3) 質疑応答

5 パネルディスカッション

テーマ 「地域とともにある学校」

パネリスト5人（有識者、東京都へき地教育研究協議会代表など）

6 閉 会

参加申込・問合せ先

参 加 申 込：（別紙）令和6年度 へき地・小規模校教育研究発表会 参加申込書を記入の上、以下のメールアドレスまで送付ください。

メールアドレス：tokyo-kyokyo@section.metro.tokyo.jp

〔定員（300人）になり次第、締切とさせていただきます。〕

※ 区市町村立学校関係者は、当該教育委員会を通じて、都立学校関係者は、当該校管理職を通じてお申込ください。

問 合 せ 先：東京都教育庁指導部指導企画課 電話 03-5320-6869



発表校の概要

○ 大島町立さくら小学校

「大島まるごと学校 ― 大島で学ぶ・大島を学ぶ・大島から学ぶ ―」

大島町立さくら小学校は、東京都の伊豆諸島最大の島である大島の北部地域にあります。

さくら小学校では、「自ら未来を切り拓く力 自信をもって生きる力」を身に付けさせるために「大島まるごと学校」をキーワードにして研究を進めています。「大島で学ぶ・大島を学ぶ・大島から学ぶ」をサブタイトルとし、郷土に根ざした学習やゲストティーチャーを活用した学習を行っています。具体的には、各学年の総合的な学習の時間の探究課題に応じて、各教科との関連付けた指導を行っています。また、教員も研修として大島に関するテーマを設定し、1年間学んだことを発表します。



(3学年 総合的な学習の時間
「大漁節を踊ろう」)

○ 檜原村立檜原中学校

「檜原村の今と未来に貢献する生徒の育成

― 総合的な学習の時間を中心とする“つなごう未来の檜原プロジェクト”を通して ―」

檜原中学校では、小規模校であることを強みに、生徒一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導体制をとっています。その中でも特に、総合的な学習の時間「つなごう未来の檜原プロジェクト」は、小中一貫校としての側面を生かした、系統的に学びをつなぐ特色ある教育活動です。このプロジェクトを通じ、生徒たちは檜原村ならではの地域の魅力を発信できる人材へと成長しています。また、個々に檜原村の未来を見据え、地域の課題を解決する方策も様々に考えて実践してきました。本校の発表をご覧ください、へき地・小規模校でこそ実現できる、豊かな教育活動の工夫を知っていただきたいと思います。



(少人数が生きる協働的な学習場面)

会場案内



< 最寄り駅 >

- 小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線「代々木公園駅」下車
(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分
- 京王バス
 - 新宿駅西口(16番)より
代々木5丁目下車すぐ
 - 渋谷駅西口(40番)より
代々木5丁目下車すぐ

主催 東京都教育委員会
東京都へき地教育研究協議会